

2026年6月30日

各 位

会 社 名 南海化学株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 杉岡 伸也
(コード番号：4040 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役執行役員業務本部長 長津 徹
(TEL. 06-6532-5590)

投資家・株主の皆さまから寄せられたご質問と回答について

日頃より当社グループの事業活動にご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

当社は2026年6月25日(木)、第75回定時株主総会を開催いたしました。その際、投資家・株主の皆さまから寄せられたご質問と回答について、フェア・ディスクロージャーの観点から以下に取りまとめて公表いたします。

なお、皆さまのご理解を深めることを目的に、いただいたご質問の趣旨を損なわない範囲で加筆・修正を加えております。また、記載の回答は開示時点における当社の判断や見解であり、将来の事象などにより実際の結果と異なる可能性があることをご了承ください。

当社は、引き続き投資家・株主の皆さまに、当社グループの事業理解を促進する取組みを実施してまいります。

記

(質問1)

環境リサイクル事業について、半導体業界からの廃硫酸ビジネスの現状と今後の見通しについて教えてください。

(回答1)

半導体の国産化の動きに伴い、製造の洗浄工程等で使用される化学物質の消費量は増えて来ています。これに伴い、副次的に発生する廃棄物(廃硫酸)の量も増えて来ることが予想されます。当社においては、これまで培った廃硫酸の再生技術を用い、その増加への対応と共に、再生した硫酸を原料に、水処理凝集剤といった付加価値を上げた商品にすることで、限られた資源の有効活用としての価値も高めていきたいと考えています。

(質問2)

設備投資についての方針やスタンス、および具体的な投資対象についてお伺いしたい。

(回答2)

2027年3月期においては、総額3,062百万円の設備投資を計画しております。当社の投資スタンスとしては、既存拠点の安全操業と持続的な製造体制を維持するための「維持・更新投資」を確実に実施しつつ、効率化による収益力改善、ならびに中長期の成長の種をまく「成長投資」を両輪でバランスよく推進していく方針です。とりわけ今期(2027年3月期)に関しましては、成長セクターである環境リサイクル事業への成長投資を推進してまいります。その一つが「排水処理設備の高度化」への投資です。この投資により、これまで処理が出来なかった重金属含有の廃酸ニーズを取り込むことが可能になります。更に、周辺企業との協業や、新たに廃アルカリの排水処理などのシナジーを生み出し、「量的拡大」だけでなく、処理単価の高い案件を扱う「質的拡大」も目指してまいります。

(質問3)

株主還元について、2026年3月期には株主優待制度の新設や自社株買いを実施しているが、配当性向をみるとまだ低い水準にあると考えている。今後の増配を含めた株主還元のスタンスについてどのように考えているか。

(回答3)

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要課題の一つと認識しており、将来の事業展開や業績、手元流動性等を総合的に勘案したうえで、「安定的かつ継続的な配当」を実施することを基本方針としております。2026年3月期においては、経営課題として掲げた「採算改善」「筋肉質化」「成長戦略」「人事戦略」が着実に進展し、一定水準の強固な収益基盤を確立できたと捉えております。しかしながら、当社が次のステージとして持続的な成長を実現するには、環境リサイクル事業をはじめとする中長期的な発展に資する複数の成長投資(資本効率の向上)が不可欠と考えています。まずはこれらの投資を着実に実行し、それによって生み出される業績拡大の「果実」を創出いたします。その拡大した原資をもとに、配当水準の向上をはじめとした株主の皆さまのご期待に沿えるような還元拡充を検討してまいりたいと考えております。投資と還元の好循環による企業価値向上を目指してまいりますので、中長期的な視点で見守っていただければ幸いです。

以上

<見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。